

富士市の自慢! 茶 職人の技 手もみ技術で 富士市チームが 念願の日本一!

勝又 正登さん(41)
まるは園
〈大淵地区〉
青年部・大淵支店茶業部会に所属
茶を生産

勝又 匠さん(69)
まるは園
〈大淵地区〉
荒茶共販委員会に所属
茶を生産

荻野 和也さん(48)
荻野農園
〈大淵地区〉
青年部・大淵支店茶業部会等に所属
茶・きのこ・野菜などを生産

手もみ技術を競う全国大会で 富士市の手もみ茶師チームが最優秀賞獲得!

年に1度開催される「全国手もみ製茶技術競技大会」で、富士市茶手採保存会の勝又匠さん、勝又正登さん、荻野和也さんの富士市チームが最優秀賞に輝きました。

同大会には全国から地区予選を勝ち抜いた26チームが出場。3人1組で、全チーム同じ茶葉を使って約5時間かけてもみ上げ、製茶技術を競いました。形状、色沢、香気、水色、滋味の5項目について審査の結果、富士市チームは見事200点満点を獲得し、「日本一」となりました。

同チームのお茶は、丸よれで剣のように細くとがった見た目の美しさや、お茶を入れた時の澄んだ黄緑色、濃厚で奥深い味わいなどが高く評価されました。

勝又匠さんは「手もみは長丁場だが、目の前のお茶と向き合い、良いお茶をつくりたいという一心でやっている。日頃から仲間と磨いてきた技が優勝につながりうれしい。今後も富士市の素晴らしい技術を次の世代につなげていきたい」と話しました。



手もみ茶とは

手もみ茶は、その名の通り、手だけで茶葉を丁寧に仕上げる伝統製法のお茶です。機械がなかった時代から続く、お茶づくりの原点と ▲技が息づく手さばきもいわれています。時間をかけてもむことで、茶葉は手もみならではの、針のように鋭く美しい形に整います。お湯を注ぐと、ゆっくりと一枚一枚の葉に戻り、高級感のある爽やかな味わいが口いっぱいに広がります。

富士市では伝統的な手もみ技術を次の世代につなごうと、富士市茶手採保存会が活動しています。会員は日頃から講習会や品評会などで技術研さんに励み、米寿祝記念茶の贈呈や子どもたちとの体験イベントなどをを行い、手もみ茶の魅力を発信しています。

熟練の技から生まれるお茶は、見るだけでも価値があると言われるほど繊細。富士市の誇れる文化として大切に守り継がれています。



スマイル テーブル Smile Table

テレビ放送のお知らせ

毎週日曜日に静岡第一テレビで放送中のJA自主制作番組「Smile Table(スマイル テーブル)」で、富士地区の「新タマネギ」をご紹介します。生産者のこだわりやおいしいレシピなどを通して、静岡の農畜産物の魅力を発信します。ぜひご覧ください。

富士地区「新タマネギ」の放送日

3月15日(日)
Daiichi-TV(静岡第一テレビ) 11:40~



※都合により放送日や放送内容が変更になる場合があります。

“農業”をサポート! 総合展示販売・相談会

2月21日(土) 9:00~14:00

開催場所 富士宮農経済センター (富士市松本12-1)

お得な肥料・農薬の販売や農業機械の展示販売など、盛りだくさんのイベントです。

ご来場いただいた方には粗品をプレゼント! たくさんのご来場お待ちしております。



▲昨年の開催時にはたくさんの来場者でにぎわいました!

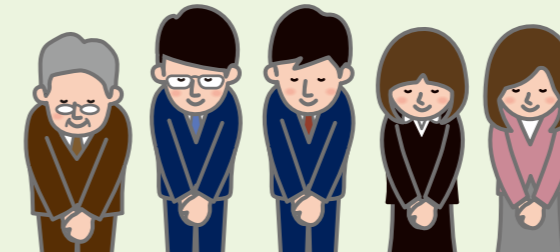
お問い合わせ 富士地区購買課 TEL 0545-61-8282 またはお近くの宮農経済センターまで

令和8年 4月1日からの 昼休業実施店舗の一部変更のお知らせ

令和8年4月1日から、支店の昼休業実施店舗・実施時間が一部変更になります。

組合員・利用者の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

なお、ATM・インターネットバンキングは、昼休業の時間帯も通常どおりご利用いただけます。



●富士地区本部 各支店の昼休業一覧(4月1日~)

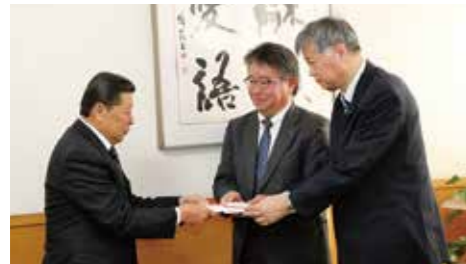
※変更箇所は赤色で表示しています。

〈店舗名〉	〈昼休業時間〉
富士中央支店	12:00~13:00
元吉原支店	12:30~13:30
須津支店	通常営業
原田支店	12:30~13:30
今泉支店	通常営業
富士北支店	12:00~13:00
島田支店	12:00~13:00
伝法支店	通常営業
大淵支店	通常営業
鷹岡支店	通常営業
天間支店	12:30~13:30
丘支店	12:30~13:30
吉永支店	通常営業
富士支店	通常営業
堅堀支店	11:30~12:30
田子浦支店	通常営業
岩松支店	通常営業
橋下支店	12:30~13:30
富士川支店	通常営業

地域福祉を応援 人形供養料を寄付



富士葬祭センターは11月20日、10月に行った人形供養祭の供養料215,000円を社会福祉協議会に全額寄付しました。寄付金は富士市の福祉向上のために活用されます。

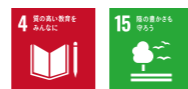


▲寄付金を贈る長橋房良富士地区本部長(中央)と富士葬祭センターの井出秀一係長(右)

地域の農業を学ぼう!



▲講師を務めた富士地区農業アカデミー部会の皆さまと営農アドバイザー



田子浦小学校3年生110人が、地域の農業について学ぶ授業を行いました。

地元生産者で富士地区農業アカデミー部会の佐野孝則さん、大竹稲光さん、遠藤富雄さんと木村優太営農アドバイザーが講師となり、田子浦地区の特産物である新タマネギをはじめとした農産物の種類や栽培の苦労、季節に合わせて作物を変える二毛作の工夫などについて話しました。

ほ場の写真や実際の経験を交えながらの説明に、児童たちは興味津々。地域の農業を身近に感じ、理解を深めました。

富士地区 農協祭 開催!!



投げ餅で大盛り上がり!

子どもたちに人気の射的コーナー



地元産の農産物がズラリ!



お茶の詰め放題に行列



何が当たるかな? 抽選会にドキドキ



どの会場も笑顔でいっぱい



磯辺焼きや焼き芋、フランクフルトなどおいしい食べ物の模擬店がたくさん!



11月16日、富士地区の14支店で農協祭を行いました。各組織の皆さまや地域の皆さまとJA職員が力を合わせ、どの会場も特色あふれるにぎやかな祭りとなりました。当日は、初めてJAを訪れたお客さまやお子さま連れのご家族の姿も多く見られ、JAを知っていただく良いPRの場にもなりました。地場農産物の即売では、野菜が新鮮で安い!と喜びの声も聞かれ、会場は笑顔と笑い声に包まれました。

楽しんでいます! 女性部活動



日頃の活動成果を発表 女性部文化祭

女性部富士地区本部は12月3日、文化祭を開催しました。各支部が舞台発表や作品展示で日々の活動の成果を披露。参加した部員はスコップ三味線やダンス、朗読劇や合唱など多彩な発表を楽しみ、交流を深めました。



▲ロビー展示には部員の力作が並び



▲会場が1つになって合唱

支部活動をのぞき見 富士北支部

富士北支部は文化祭に向けて、木材を削った際に出る“カンナ屑”を使ったリース作りに初めて挑戦しました。仲間同士で楽しみながら、それぞれの個性が光るすてきなリースが完成しました。



▲カンナ屑を使ったリース作りに挑戦!



▲難しい...ちょっと手伝って!



▲みんなでワイワイおしゃべりしながら、にぎやかムードでリース作り!



▲完成!かわいいリースができました♡

ハーブの寄せ植え体験で仲間づくり

12月16日、ハーブの寄せ植え教室を行いました。これは仲間づくりの楽しさを伝えようと、女性部が企画したもので、市内在住の50歳以下の女性を対象に募集し、4人が参加しました。参加者は、市内のハーブ生産者で青年部員の田村英俊さんを講師に、ハーブの特徴や使い方などを教わりながら寄せ植えを楽しみました。



▲ハーブごとに異なる特徴を学ぶ



▲体験後は、ハーブティを楽しみながら座談会を開催



▲「富士露地ベルバナナの会」の皆さま



▲収穫後に常温(室内)に2週間ほど置くと緑の果実が黄色く変化。すっきりとした甘さでねっとり食感のおいしいバナナになります。

▼1つの“木”に約30キロの実ができます



◀「バナナハート」と呼ばれるバナナの花

富士市の住民有志などでつくる「富士露地ベルバナナの会」は、地域の活性化や耕作放棄地の解消、子どもたちへの食農教育などを目的に、バナナの露地栽培を広げる活動をしています。令和4年に元吉原地区から始まった同活動の輪が市内外に広がり、住宅の庭や畑、小中学校や幼稚園などさまざまな場所で栽培に取り組んでいます。元吉原支店で行われた農協祭では、同会の活動を知ってもらおうと、初めて富士市産バナナを販売。会場は地元産バナナに驚く多くの来場者でにぎわいました。

農協祭で発見! 露地栽培で育てた 富士市産バナナ

